

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科目区分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科目名	高次脳機能障害学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15	(1)	
対象学年	2年	学期	後期	教室名	1002教室		
担当教員	加藤美樹						
実務経験と その関連資格	作業療法士として大学病院にて5年間脳血管障害リハを中心に従事し、高次脳障害に関して研究・学会発表をおこなってきた。その後、身体障害者福祉センター、介護老人保健施設にて10年間多くの症例を経験し、特に認知症に関して研究発表、シンポジウムの参加をしてきた。						
《授業科目における学習内容》							
脳の損傷・病気によって生じる高次脳機能障害の病態について理解し、対象者の方にどのように接すればよいか知る。脳の解剖に興味を持ち、半側空間無視、失語、視覚失認、認知症における特徴的な症状について学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
定期テスト80% 小テスト20%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
なし							
《授業外における学習方法》							
レジュメの復習をして下さい。							
《履修に当たっての留意点》							
患者さんの症状をイメージし、どのようなことが日常生活に支障をきたすかを考えながら学習してください。							
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害が何かを説明できる。脳の解剖を理解する。		レジュメ			
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション 高次脳機能障害学とは 脳解剖					
第2回	授業を通じての到達目標	脳の解剖・機能について説明できる。		レジュメ、色鉛筆	レジュメの復習をしておいてください。		
	各コマにおける授業予定	脳解剖・機能の復習(脳4葉、役割) 脳画像					
第3回	授業を通じての到達目標	脳の解剖・機能について説明できる。		レジュメ、色鉛筆	レジュメの復習をしておいてください。		
	各コマにおける授業予定	脳解剖・機能の復習(脳神経、4葉役割) 脳画像					
第4回	授業を通じての到達目標	半側空間無視の病態について説明できる。		レジュメ	レジュメの復習をしておいてください。		
	各コマにおける授業予定	半側空間無視の症状 小テストNo.1					
第5回	授業を通じての到達目標	半側空間無視の病態について説明できる。		レジュメ	レジュメの復習をしておいてください。		
	各コマにおける授業予定	半側空間無視の検査、対応方法 小テストNo.2					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	失語症の病態について説明できる。	レジュメ	レジュメの復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	失語症の種類、症状、検査、対応方法 小テストNo.3		
第7回	授業を通じての到達目標	視覚失認の病態について説明できる。	レジュメ	レジュメの復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	視覚失認の症状、検査、対応方法 小テストNo.4		
第8回	授業を通じての到達目標	認知症の病態について説明できる。	レジュメ	レジュメの復習をしておいてください。
	各コマにおける授業予定	認知症の種類、症状、検査、対応方法 高次脳機能障害復習		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			